

外国人ドライブ観光客の 周遊・滞在実態について

(2018年1月～12月)

平成31年5月28日

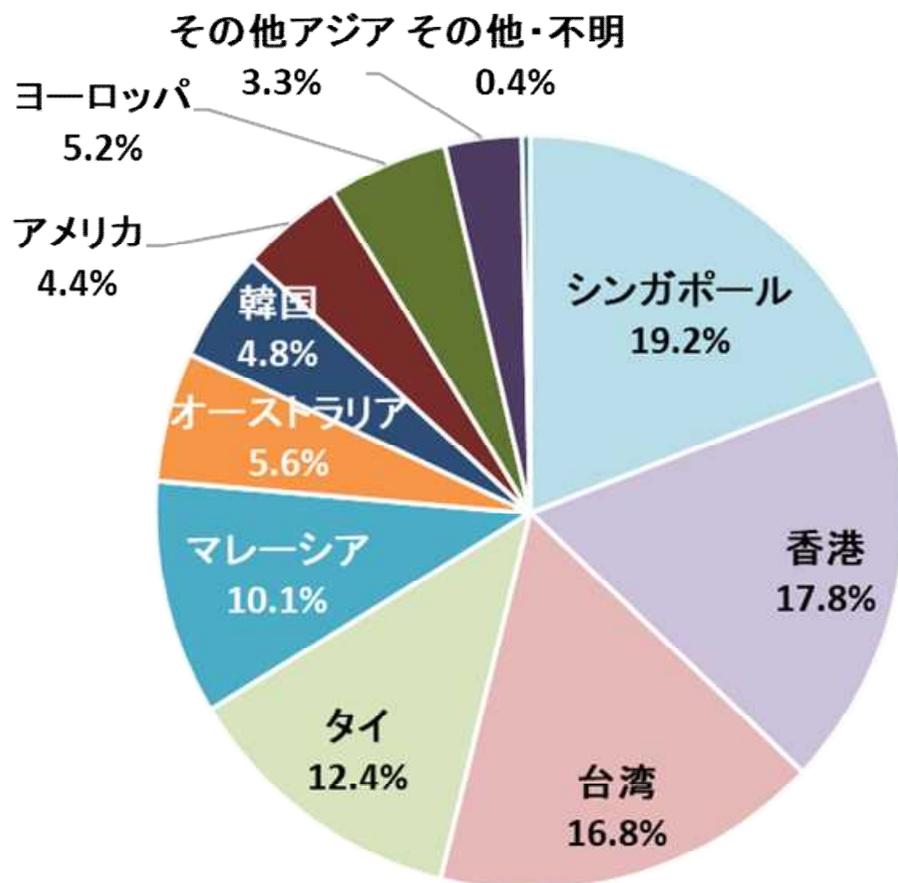
国土交通省北海道開発局

1.2018年に取得されたデータ

- ・2018年の1年間で**2,540人**のデータを取得。これは**北海道全体の外国人レンタカー貸渡台数の2.8%**にあたる。
- ・国・地域別割合は、**上位5か国は全てアジアで、全体の76.3%**を占める。
- ・外国人レンタカー貸渡台数に対するアプリ測位者数割合は、**シンガポールやタイが高く、韓国が低くなった。**

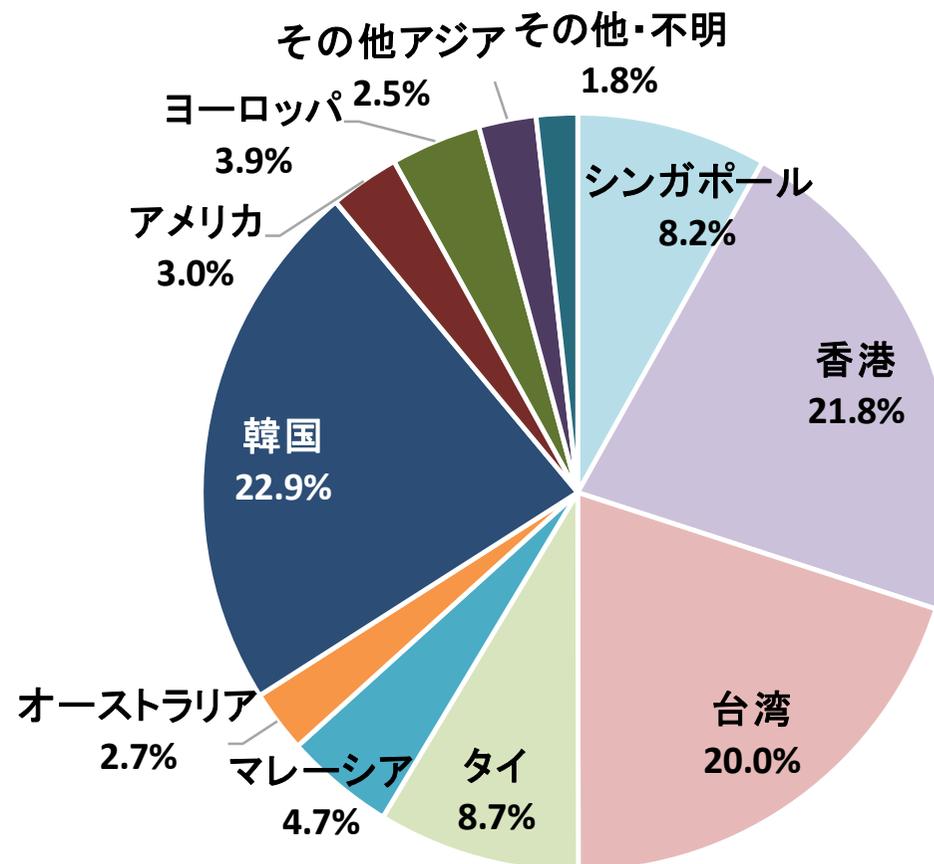
● アプリ測位者の国・地域別割合

調査期間	18/1/1~12/31
サンプル数	2,540人



● 外国人レンタカー貸渡台数の国・地域別割合

調査期間	18/1/1~12/31
貸渡台数	90,908台



ナビタイムジャパン提供アプリ「Drive Hokkaido!」アンケートデータ

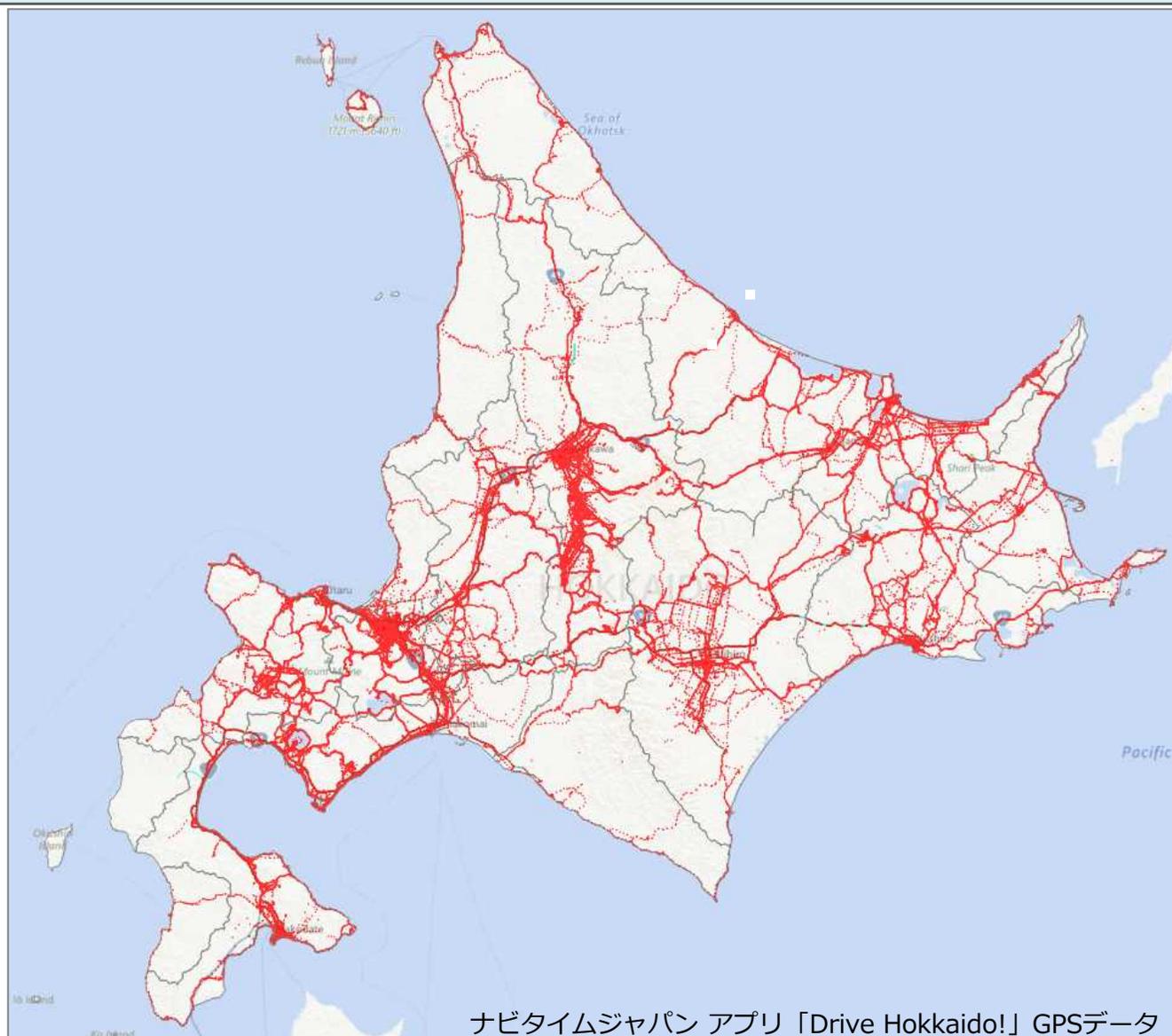
北海道地区レンタカー協会連合会提供資料

※ サンプル数は、各期間の合計から期間をまたがって滞在し、重複してカウントされた者を除いた人数

1.2018年に取得されたデータ

- GPSデータは、携帯端末の位置情報利用を許可しているなど、一定の条件を満たしている限り、2分間に1回の頻度で取得される。
- 1年間で取得された**2,540人分**のGPSデータを重ね合わせると左図のとおりとなる。

● GPSデータの取得状況 2018/1/1~12/31



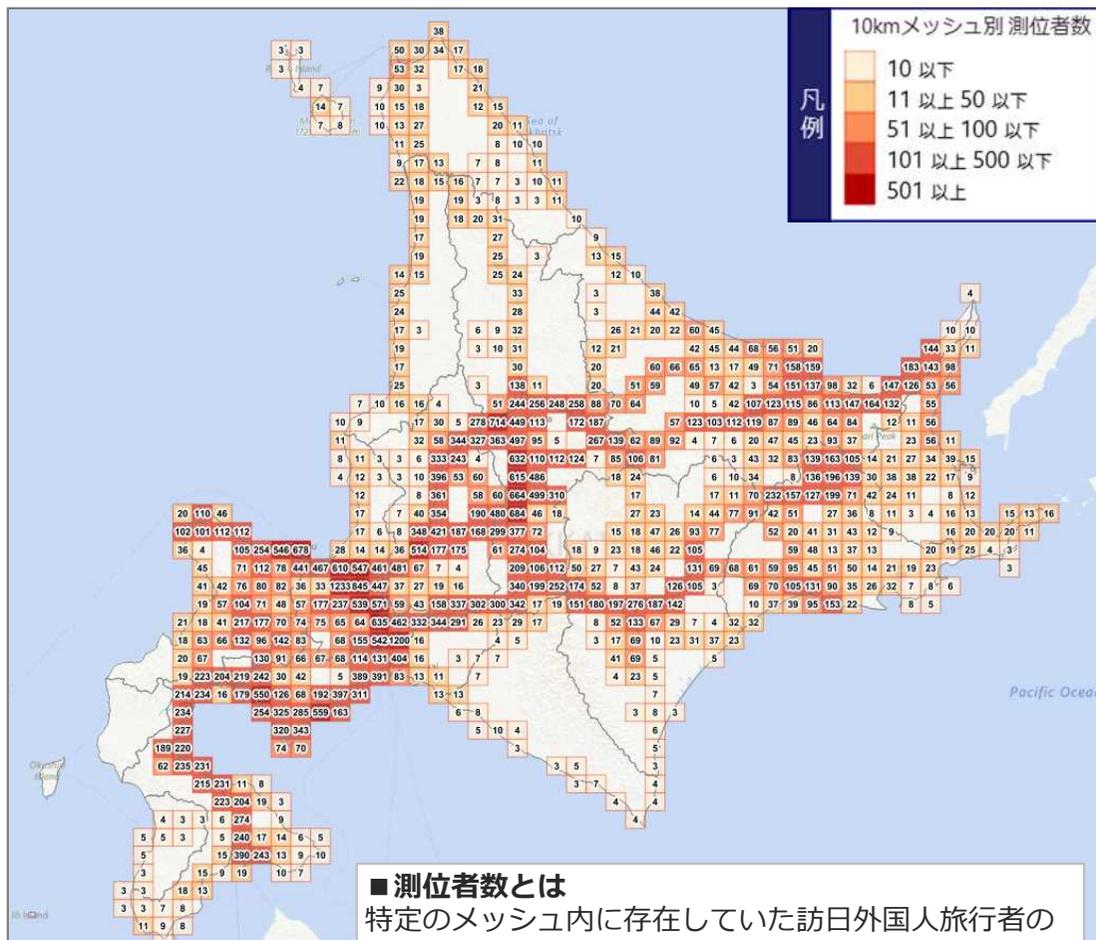
ナビタイムジャパン アプリ「Drive Hokkaido!」GPSデータ

2.測位・滞在分析 測位・滞在状況 ~ 2018年 ~

- ・測位者は、高速道路等の沿線を中心に広がりを見せており、**広域に周遊**していることが分かる。
- ・滞在者は札幌市、函館市、旭川市及び美瑛・富良野エリア等の**主要観光地に集中**している。また、観光地間にある市町村には測位数に比べ滞在数が大きく減少しているケースが多く見られ、滞在されずに通過されている傾向が伺える。

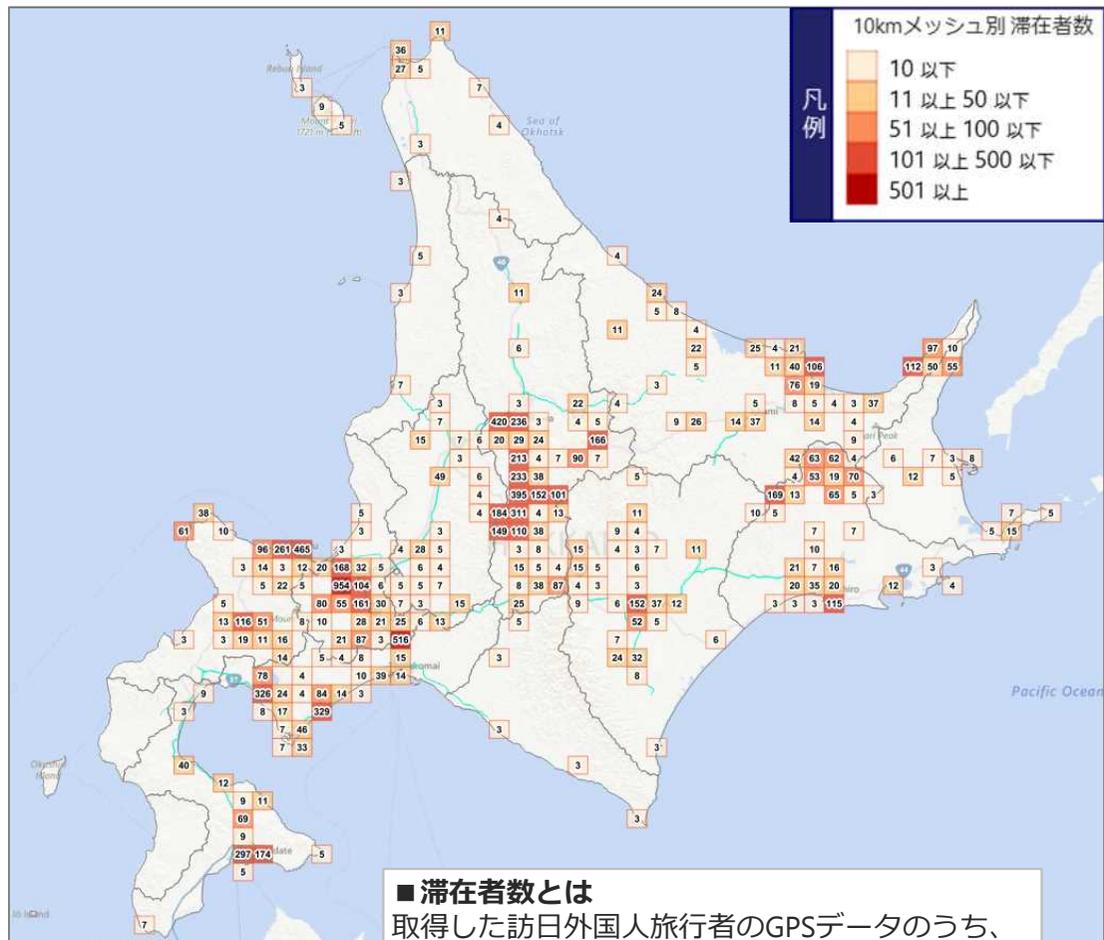
● 全道におけるGPSデータ測位者数 (10kmメッシュ) 2018/1/1~12/31

● 全道におけるGPSデータ滞在者数 (10kmメッシュ) 2018/1/1~12/31



■ 測位者数とは

特定のメッシュ内に存在していた訪日外国人旅行者のGPSデータ測位者数をカウント。
本分析では、匿名処理の関係によりサンプル数 (n) が3人以上のメッシュのみ表示。



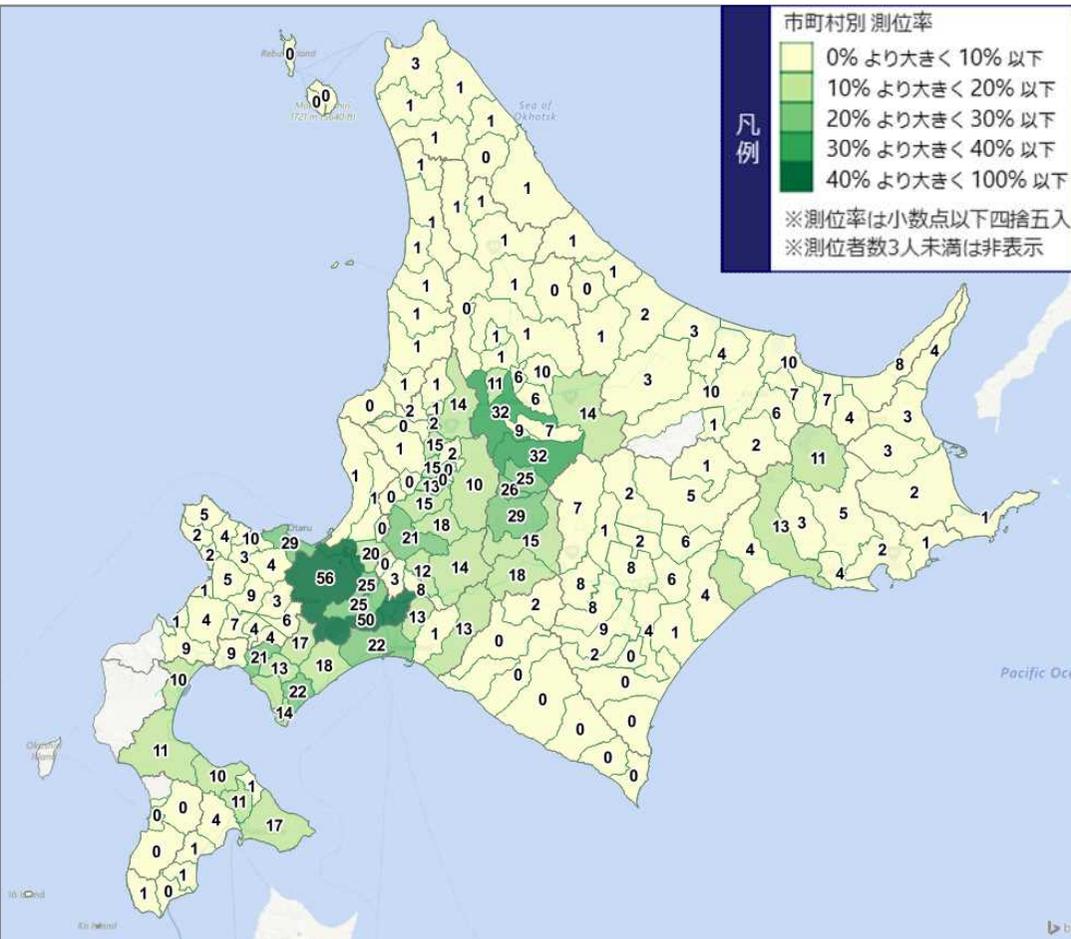
■ 滞在者数とは

取得した訪日外国人旅行者のGPSデータのうち、同一1kmメッシュ内に30分以上連続で滞在した人を「滞在」と定義しカウント。
本分析では、匿名処理の関係によりサンプル数 (n) が3人以上のメッシュのみ表示。

2.測位・滞在分析 測位率・滞在率 ～ 2018年～

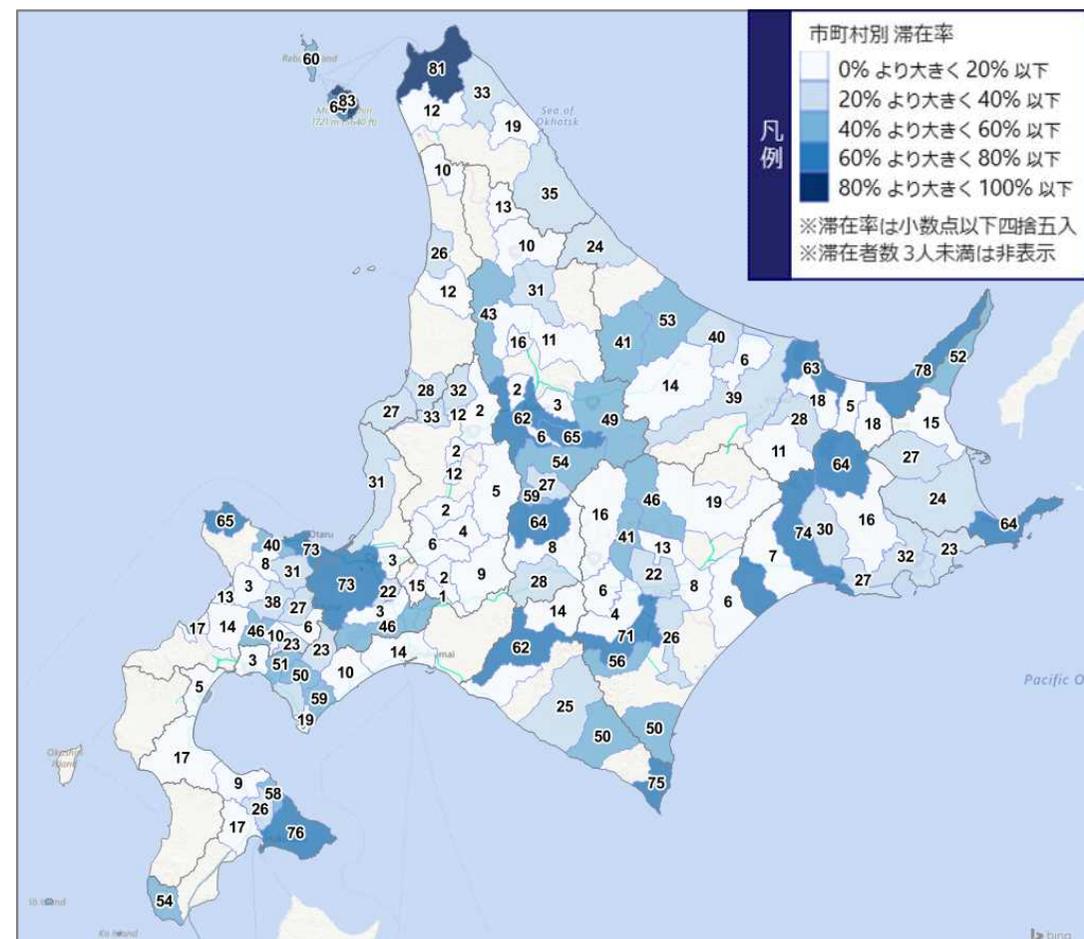
- 測位率が高いエリアは東西に帯状に広がっており、特に石狩及び上川地方の測位率が高い傾向が確認できる。
- 滞在率が高い地域は目的地として訪問されていることが推測され、札幌市や函館市など主な観光地の他、稚内市や斜里町など北海道の先端部で高くなる傾向がある。

● 市町村別 測位率図 (2018/1/1～12/31)



測位率とは
市町村別で測位された人数を北海道全体で測位された人数(2,540人)で除した値。

● 市町村別 滞在率図 (2018/1/1～12/31)

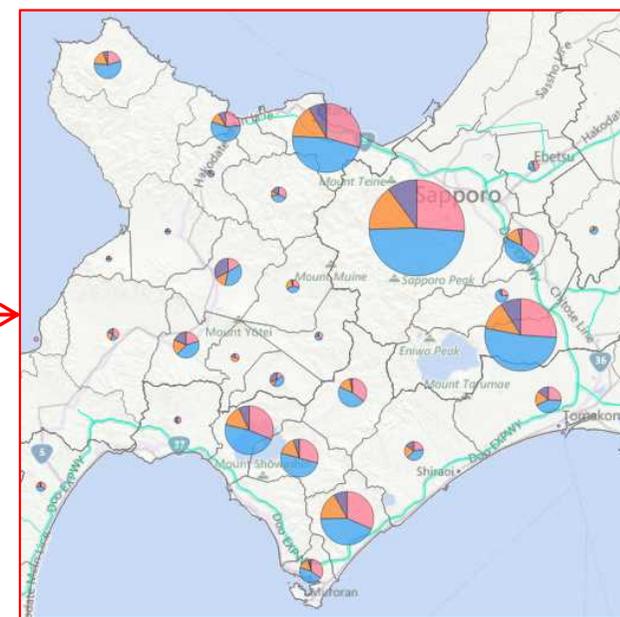
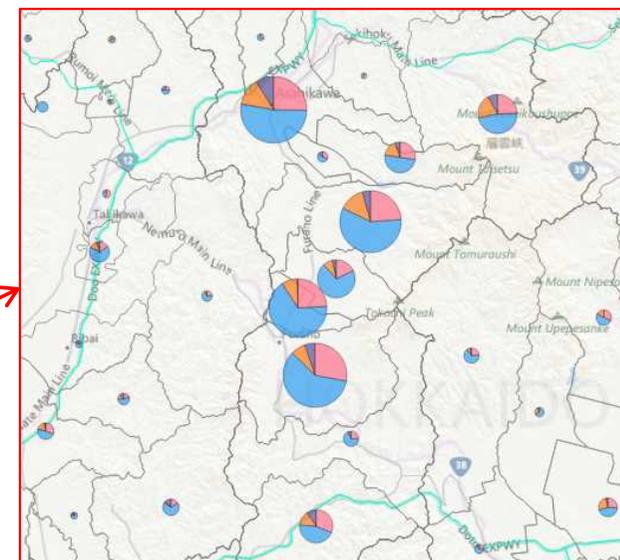
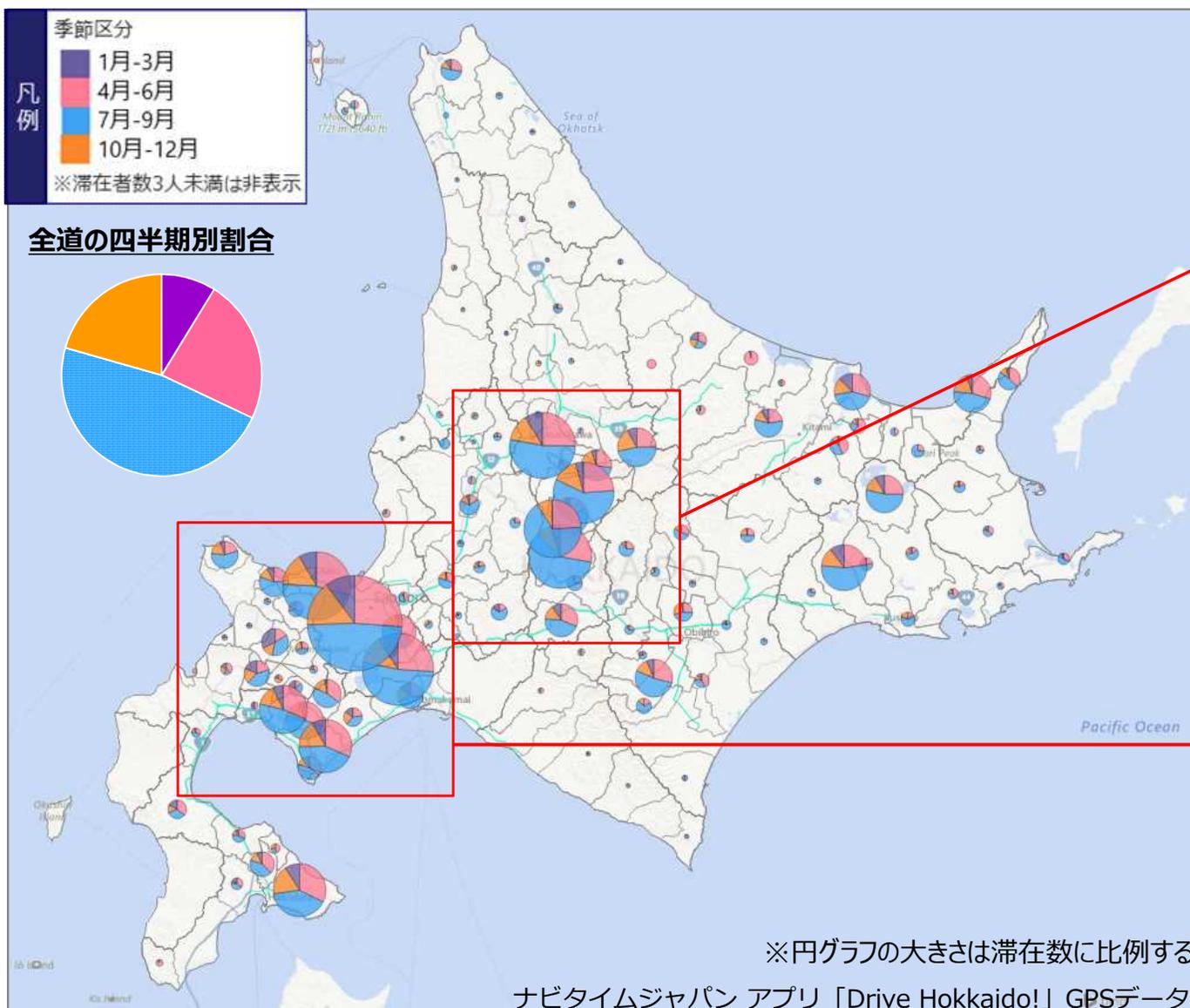


滞在率とは
市町村別に滞在判定された人数を各市町村の測位者数で除した値。
当該エリアを通過せずに立ち寄った比率を示す。
測位者数が少ない市町村であっても、高い数値となる点に留意が必要。

2.測位・滞在分析 滞在状況 ～四半期別円グラフ～

- ・道南地方及びオホーツク地方は、4-6月期の割合が高くなる傾向がある。
- ・上川地方のうち、美瑛・富良野エリアは、7-9月期の割合が高くなる傾向がある。

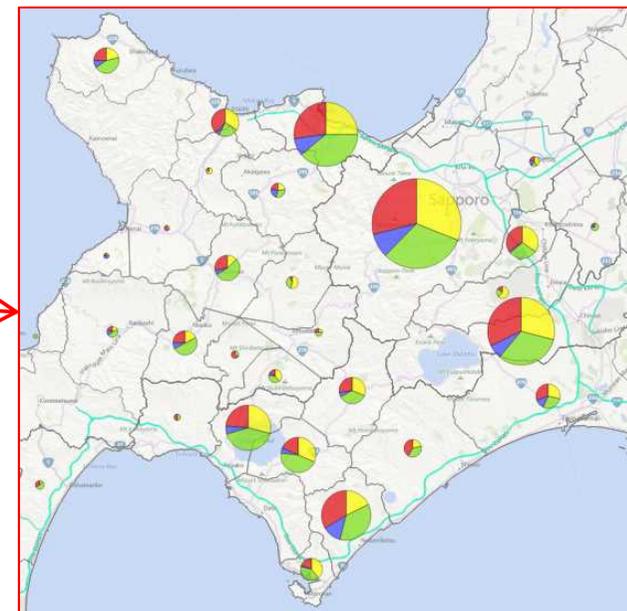
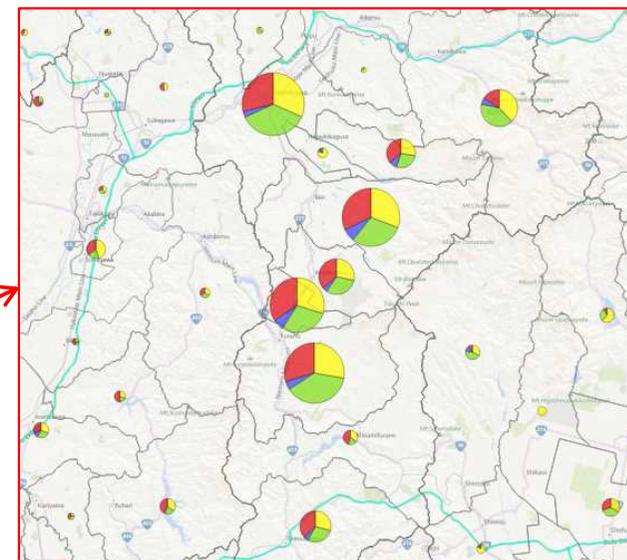
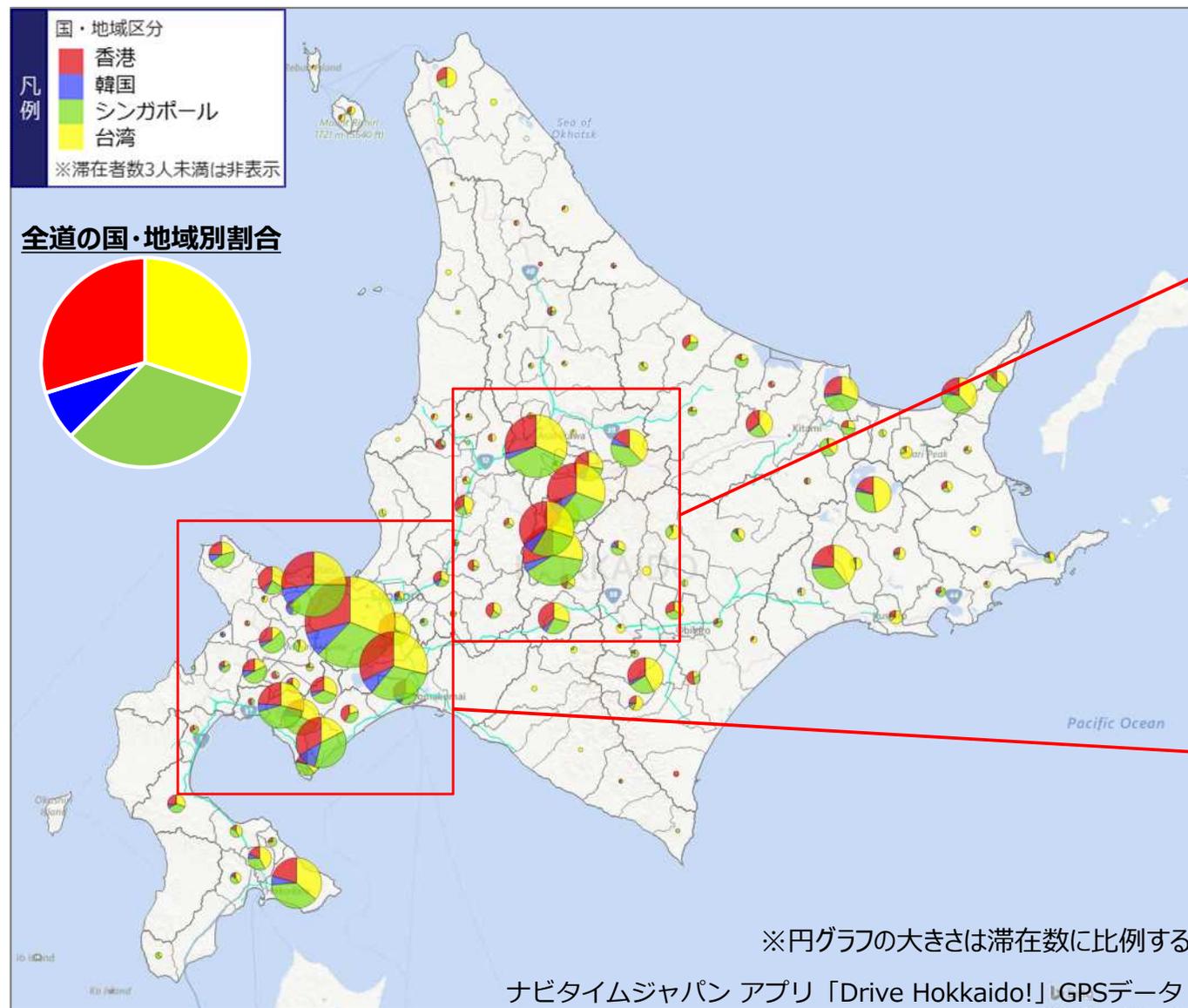
● 滞在状況（四半期別円グラフ） 2018/1/1～12/31



2.測位・滞在分析 滞在 ～国・地域別円グラフ～

- ・道東、道南地方では、台湾の滞在割合が高くなる傾向がある。
- ・札幌市周辺では、韓国の割合が比較的高くなる傾向がある。

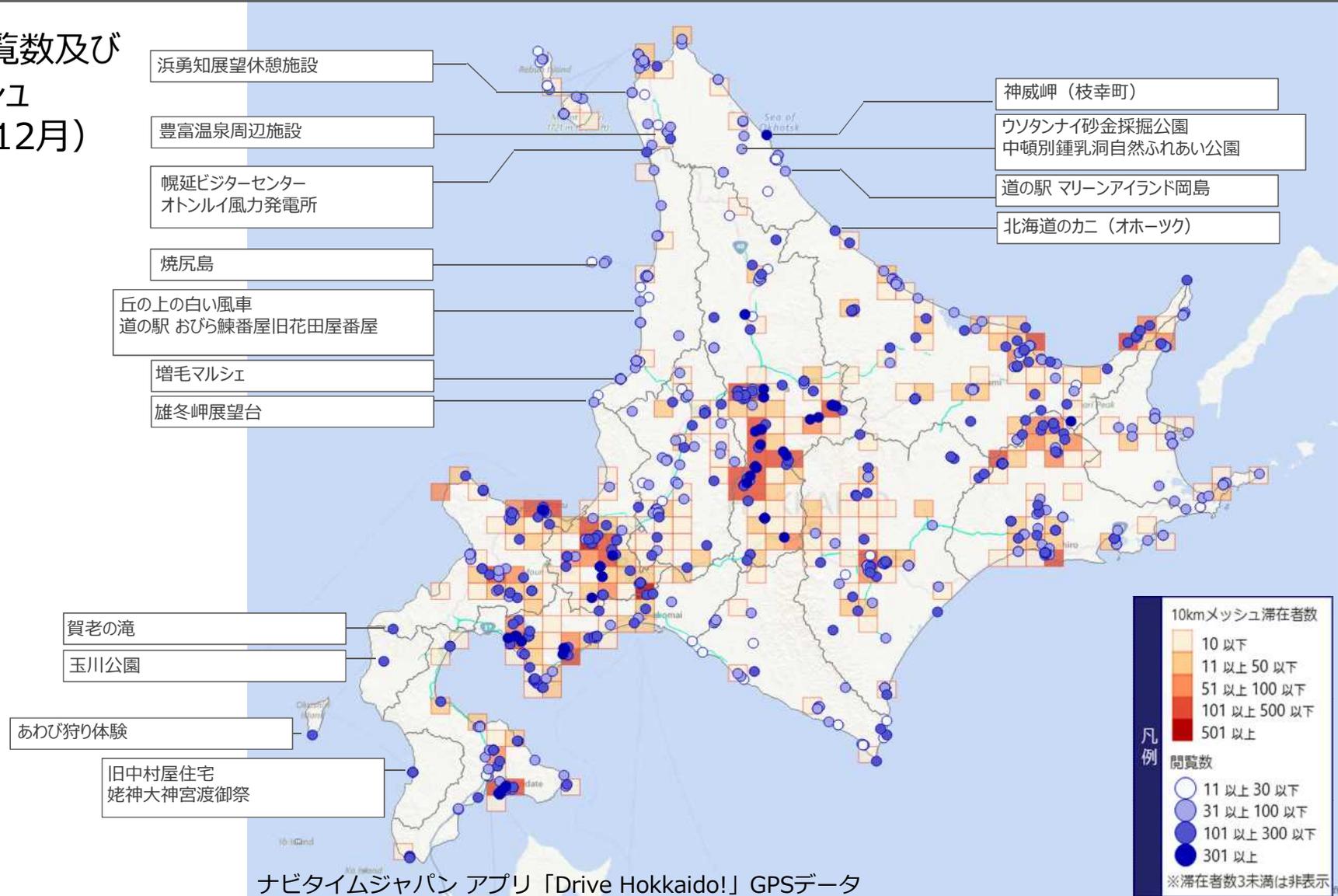
● 国・地域（4地域）別市町村別 滞在者数分布図 2018/1/1～12/31



2.測位・滞在分析 アプリ掲載情報の閲覧傾向と滞在

- アプリに掲載している観光スポットの閲覧状況を10km滞在メッシュに重ね合わせることで、情報の閲覧と滞在にどのような関連があるのかを確認した。
- 道北圏の日本海沿岸及び太平洋沿岸、道南圏の日本海沿岸は、閲覧数が多い観光スポットを多数確認できるものの、あまり滞在に結びついていないことがわかる。

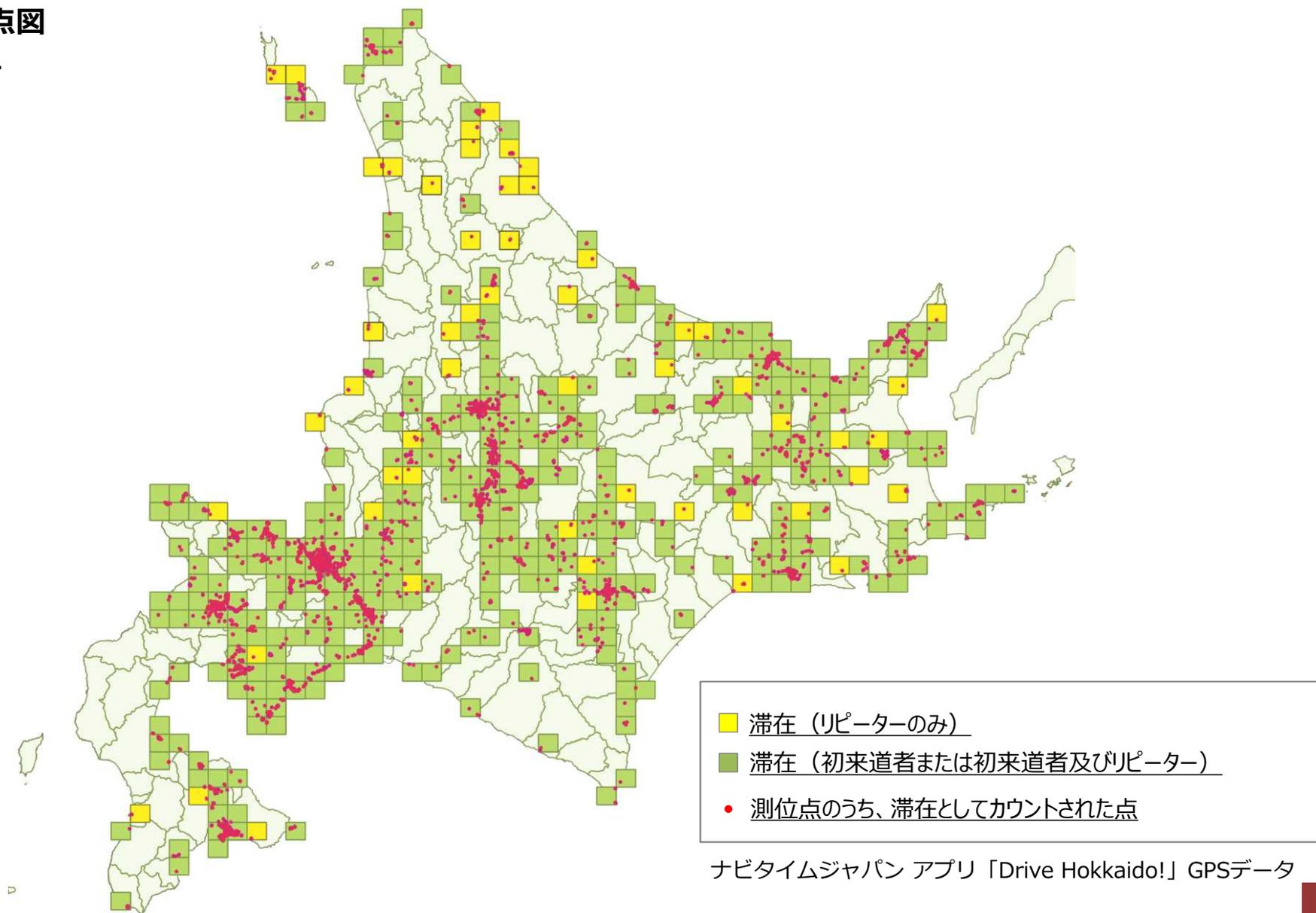
●観光スポット閲覧数及び10km滞在メッシュ (2018年1月～12月)



2.測位・滞在分析 滞在 ～リピーターのための滞在～

- ・リピーターのための滞在を確認できるメッシュは、留萌、宗谷及びオホーツク総合振興局管内に多い傾向がある。
- ・留萌、宗谷及びオホーツク総合振興局管内では、特に「道の駅」や「展望台」といった施設への滞在を確認できる。

● 10km滞在及び滞在点図 2018/1/1～12/31



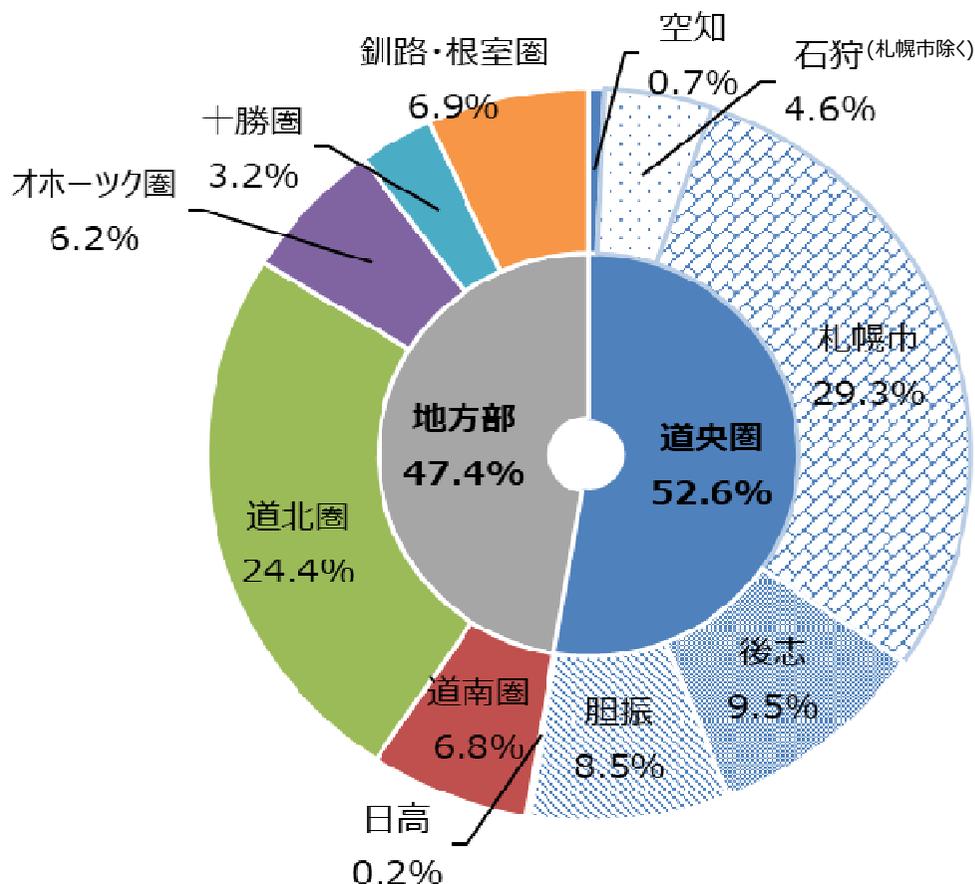
3. 宿泊地分析 宿泊地 ～ 2018年～

- 外国人ドライブ観光客は、来道外国人旅行者全体の宿泊割合に比べて、道央圏以外の地方部に宿泊する割合が高く、より地方部を周遊していることを確認できる。
- 地方部の宿泊割合が最も高くなるのは、4-6月期で48.8%であった。

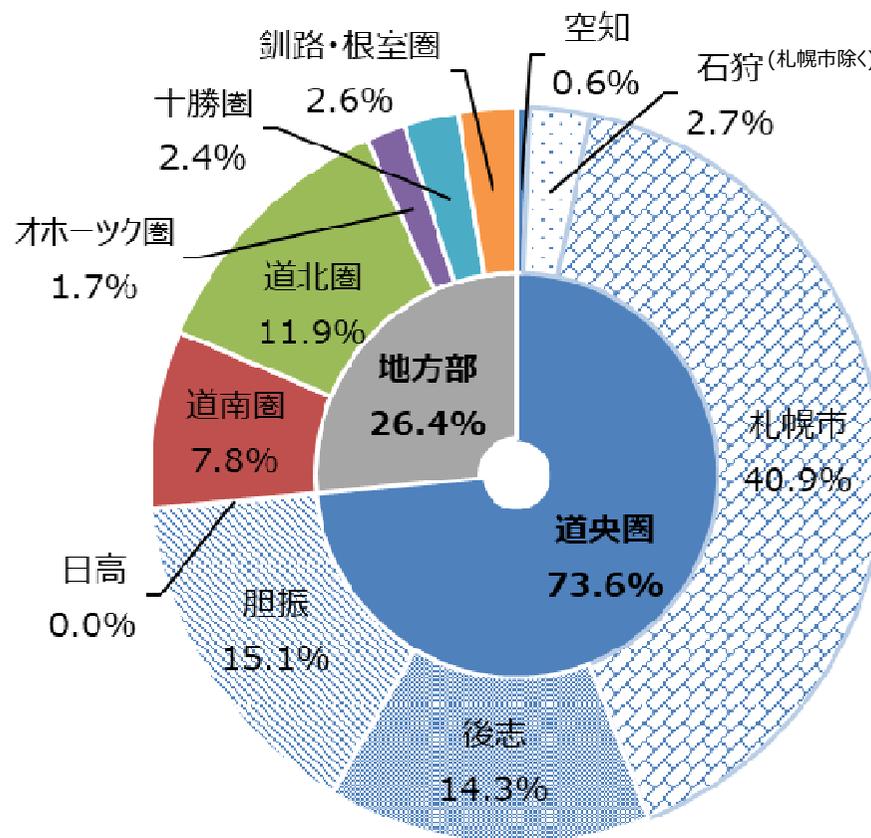
● 振興局別宿泊割合（圏域内宿泊客延数／北海道宿泊客延数）

宿泊データ取得人数 1,576 人

外国人ドライブ観光客宿泊割合（2018年）



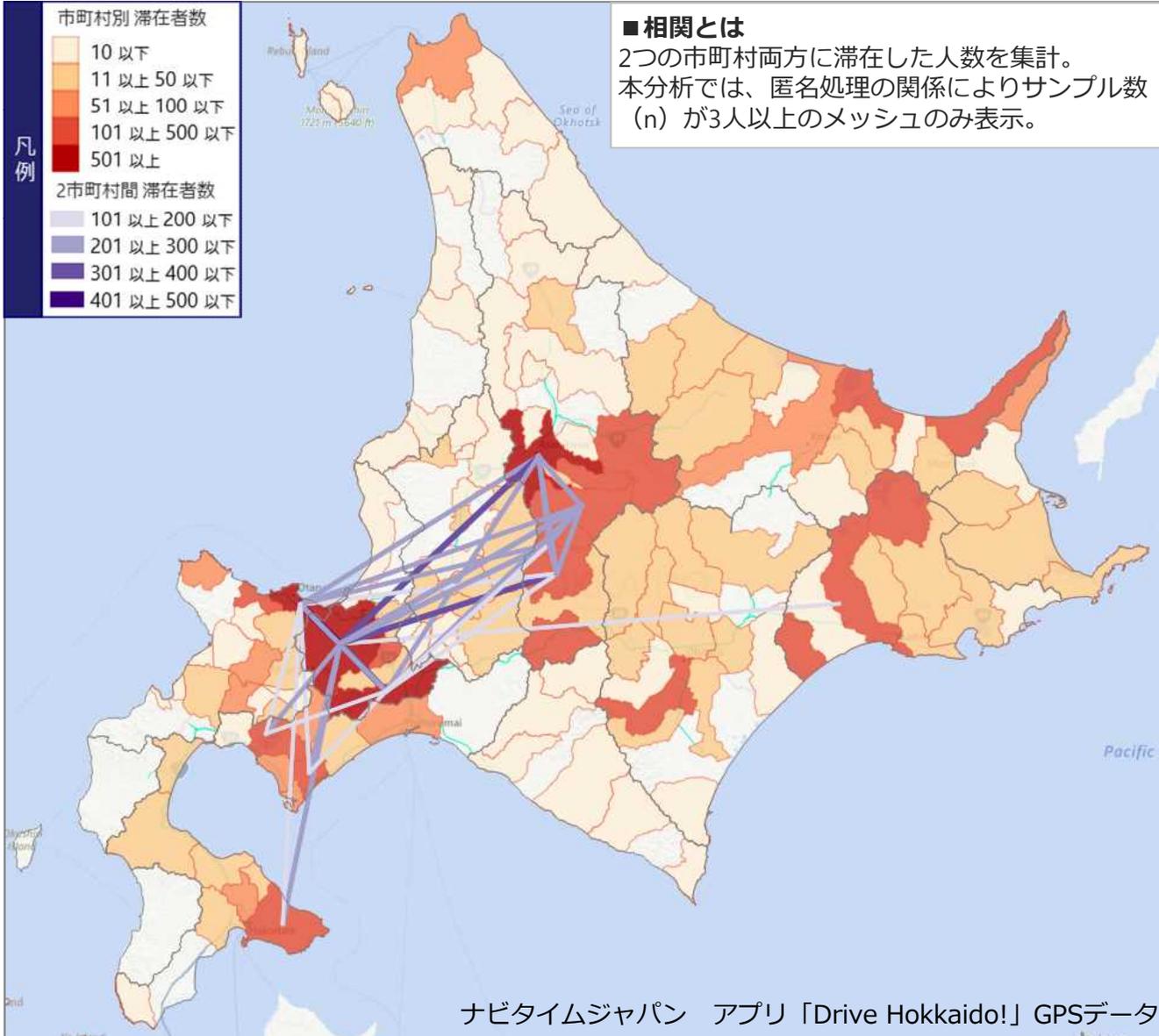
(参考) 来道外国人旅行者全体宿泊割合（2017年）



・ 本分析では、21時～翌3時の間にGPSデータが測位された最後の市町村を「宿泊地」とみなし、データ未測位日を除く。
 ・ 来道外国人旅行者全体の宿泊割合は「北海道観光入込客数調査報告書」の2017年の外国人宿泊客延数を基に算出。

4. 相関・滞在流動分析 相関分析

- ・相関上位30のうち、札幌市に絡む相関は10あり、**札幌市が北海道のドライブ観光のハブ**になっていることがうかがえる。
- ・主な相関は、道央圏と道北圏に集中している傾向が確認できる。

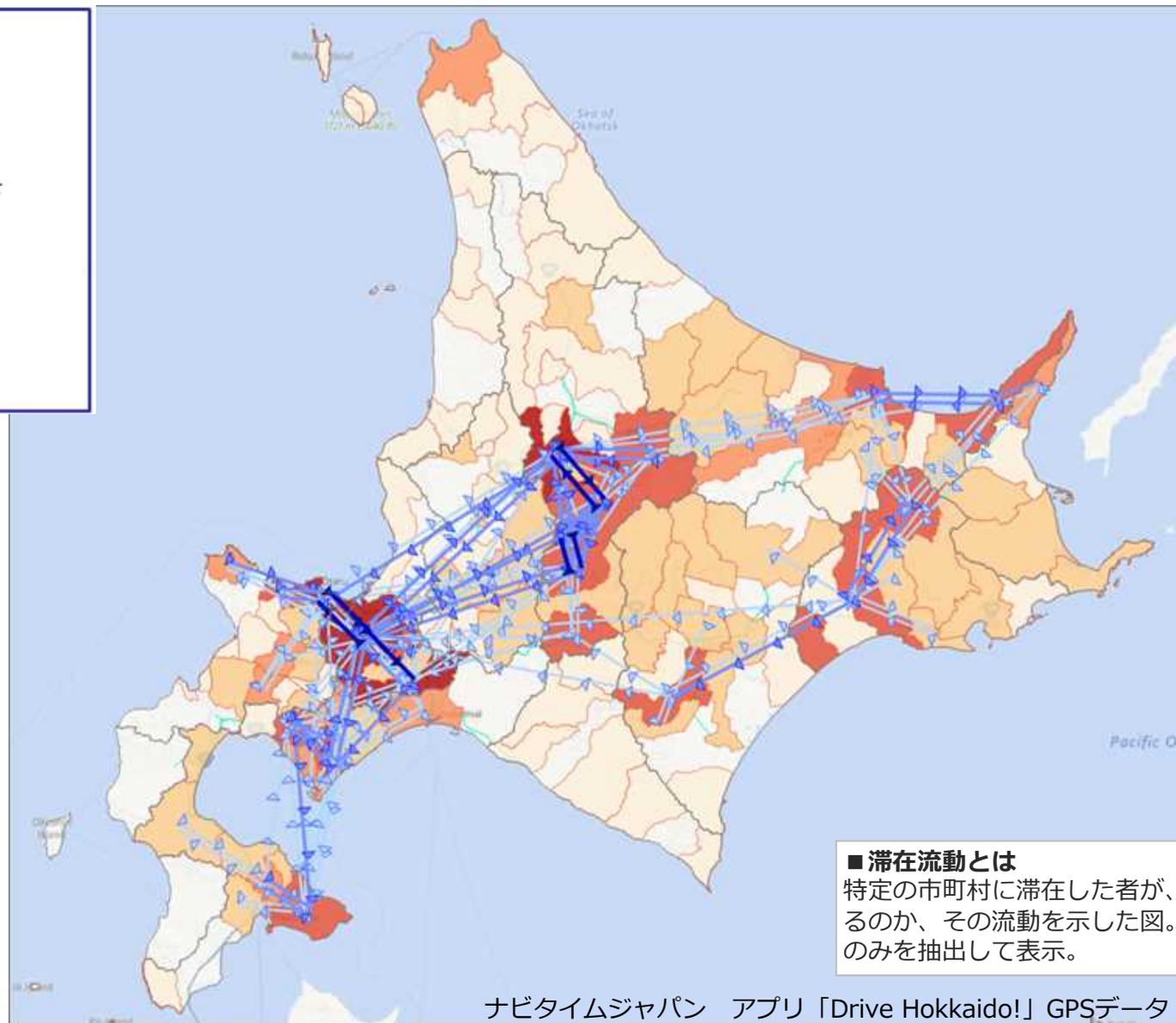
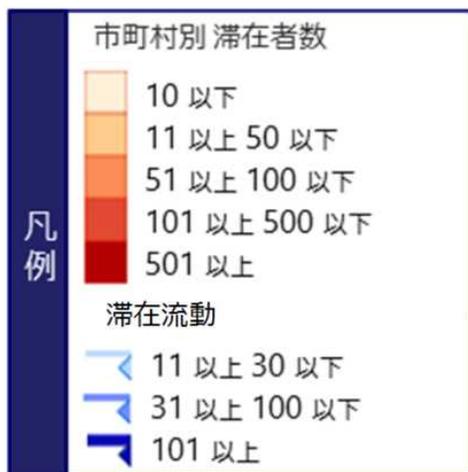


● 相関上位30市町村 (2018/1/1~12/31)

順	市町村A	市町村B	滞在者数
1	札幌市	小樽市	426
2	札幌市	千歳市	396
3	札幌市	旭川市	344
4	札幌市	富良野市	319
5	札幌市	美瑛町	298
6	札幌市	中富良野町	291
7	小樽市	千歳市	264
8	富良野市	中富良野町	250
9	美瑛町	中富良野町	245
9	富良野市	美瑛町	245
11	札幌市	登別市	240
12	旭川市	美瑛町	235
13	札幌市	函館市	223
14	旭川市	富良野市	222
15	小樽市	旭川市	220
16	旭川市	千歳市	214
17	小樽市	美瑛町	208
18	千歳市	美瑛町	207
19	旭川市	中富良野町	204
20	小樽市	中富良野町	203
20	札幌市	洞爺湖町	203
22	小樽市	富良野市	196
23	千歳市	富良野市	193
24	千歳市	中富良野町	192
25	小樽市	登別市	165
26	千歳市	登別市	157
27	札幌市	釧路市	149
28	函館市	小樽市	146
29	小樽市	洞爺湖町	145
30	千歳市	洞爺湖町	143

- 凡例
- 石狩
 - 渡島
 - 後志
 - 上川
 - 胆振
 - 釧路

- 札幌市-小樽市、旭川市-美瑛町、富良野市-中富良野町の相互流動が多く、これらの間の相互流動も多いことから、北海道におけるゴールデンルートと推測される。
- 道東地域への周遊は、札幌－旭川－網走－釧路という右回りでの周遊が多くなっていると推測される。



■滞在流動とは
特定の市町村に滞在した者が、次にどこの市町村で滞在するのか、その流動を示した図。本分析では、流動が $n \geq 11$ のみを抽出して表示。

- 外国人ドライブ観光客は北海道内各地を広域に周遊し、来道外国人旅行者全体に比べ、より地方部を訪れ、より長い期間滞在しており、ドライブ観光の促進は、来道外国人旅行者の地方部への誘客に有効。
- 地域間・観光施設間の結びつき等を把握することで、より効果的な観光関連施策の企画立案や効果検証が可能。
- 継続したデータ取得により、季節変動、経年変化の継続的な把握を行うことが重要。

【北海道開発局 ホームページ】

○北海道外国人ドライブ観光客促進プラットフォーム

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001bhbx.html>

○2018年 外国人ドライブ観光客の周遊・滞在実態 分析結果

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001ki1s.html>

(※ 全道分析以外にも、全道15エリアの地域分析も掲載しております。)